令和５年度　竹早中学校教育後援会「創竹会」総会　議事録

日　時：令和６年6月22日（土）午前10時30分～

場　所：附属竹早中学校　第二会議室（5階）

出席者：中学校（2名）　馬場校長、森副校長

　　　　創竹会（20名）　古谷会長、武居副会長、高畠副会長、二瓶顧問、三嶋顧問、勝岡顧問

加藤監事、田中（２期生）、阿部、雲雀、今関、林、佐別當、馬場、皆川

山崎、石田、沼田、藤塚、鈴木 (議事録担当：皆川)

配布資料：令和５年度 竹早中学校教育後援会「創竹会」総会

参考資料：令和5年度（2023年度）決算　運営費決算・教育研究活動補助決算

　　　　　令和5年度（2023年度）奨学寄付金決算報告書・特別寄付金決算報告書

　　　　　令和6年度（2024年度）予算　運営費・教育研究活動補助費

　　　　　令和6年度（2024年度）奨学寄付金予算・特別寄付金予算

1. 馬場校長先生よりご挨拶
2. 古谷会長よりご挨拶
3. 事業決算報告書（阿部理事より）
	1. 竹早中に対する助成事業

　　　　　創竹会から竹早中学校に対して助成金を行った。

奨学寄付金24,000,000円　特別寄付金5,037,000円　学芸大学へ助成した。

教育研究活動補助金3,955,559円　特別運営費5,078,386円 助成した。

合計金額は38,070,945円

* 1. 会議開催について

　　　　　総会は1回開催、役員会は3回。特別委員会は1回行った。

* 1. 会員勧誘活動及び会員入会事務について

　　　　　正会員向けには令和5年6月と7月の各学年保護者会にてお願いをし、令和5年11月の3年生保護者会にて説明をした。

　　　　　令和6年2月は合格者保護者会、新入会員入会事務、入学者保護者会、4月は全体保護者に向けて特別寄付の説明を行いました。

　　　　　賛助会員むけには、令和5年5月と10月にダイレクトメールにて資料を送付した。

令和5年7月Zoom配信、11月には対面にて学校保護者会を行った。

* 1. 会報の発行について

　　　　　令和5年10月に発行、会員に送付した。

* 1. 文化研究会発表会における広報活動について

　　　　　令和５年１１月展示等で広告活動（書籍・竹早オリジナルグッズ販売・休憩室）を行った。

* 1. 賛助会員の入金を確認、入力などの名簿の整備を行った。
	2. 学校行事の参加について

運動会：令和５年９月 古谷会長出席。

学校関係者評価委員会：令和５年７月・12月・令和６年４月の３回開催され古谷会長が出席。

* 1. 寄付金の税額控除寄付金領収書の発送について

領収書の発送を令和５年１２月に行いました。

４）令和５年度決算報告

　　　Aは創竹会運営費用、Bは教育研究活動補助、Cは学校運営補助費、Dは教育活動補助費です。

創竹会の予算は、創竹会の運営費用を除き、 基本的には大学に寄付することが原則です。大学は独立行政法人であり、費用を支払う場合時間がかかる問題がある。そのため、機動性が求められるものはBの補助費として予算計上されております。

なお創竹会の運営費用は発足当時から最低限の負担で行っており、原則総予算の５％を目安として運営しているが令和５年度は３.１％の負担率でした。卒業生や正会員のボランティアを基礎として活動をしており、会員勧誘・入会事務、会報の発行、名簿の整備などを活動内容としております。

 　　 Aの創竹会の運営は、今関理事。B・C・Dは学校運営にかかわることなので、森副校長から説明。

A＝創竹会運営費用の説明（今関理事より）

収入の部　予算56,378,048円　決算57,720,091円となり、1,342,043円　増収。

支出の部　予算56,378,048円　決算39,900,201円となり、残金　16,477,847円

創竹会の運営費　予算　2,300,000円　決算　1,813,826円　残金　486,147円

運営費は3.1％です。

B＝教育研究活動補助・C＝学校運営補助費・D＝教育活動補助費の説明（森副校長より）

B＝教育研究活動補助について

予算6,600,000円　年度末決算3,955,559円　残高2,644,441円

儀礼・行事補助費はマイナス7,002円年によって慶弔費をつけているためです。

C＝学校運営補助費について

収入の部　奨学寄付金繰越金21,329,183円　本年度奨学寄附金24,000,000円（空調設備整備費（D）を含む）　奨学寄附金収入総額45,329,183円

奨学寄附金の支出の部　予算17,450,000円　年度末決算10,743,927円　残金6,706,073円

D＝教育活動補助費について

奨学寄附金の支出の部　予算24,379,183円　年度末決算16,399,095円　残金7,980,088円

　　　　 特別寄付金決算報告

　　　　　 繰越20,000円　予算3,000,000円　残金5,037,000円

５）令和５年度監査報告について（加藤監事より）

各監事が本日の「総会」に提出している議案及び書類について 調査した結果、いずれも法令及び会則に適合しており、相違するところはなかった。

６）令和６年度 創竹会 役員選出について

本議案の内容につきましては、手元の資料に記載とおりであり、候補者についてはあらかじめ就任の承諾を得ている。

7）令和６年度 事業計画（案）（阿部理事）

総会・懇親会および役員会の開催、会員勧誘活動、会報の発行、文化研究発表会 における広報活動など、例年どおりの活動を計画しております。

　　令和６年度 事業計画予算（案）（今関理事）

予算収入は、59,291,890円 を予定している。 主な収入源は76期 ～78期 正会員会費 25,200,000円としている。

主な支出項目である学芸大学への支出である奨学寄付金19,000,000円 、特別寄付 3,000,000円 を計画している。また、教育研究活動補助金 6,300,000円、特別運営費 23,000,000円、空調設備整備積立金2,500,000円、創立８０周年運営費積立金3,000,000円を計上している。

予算案Aのご説明に関して昨年度に引き続き 2,100,000円 を予算計上している。

令和６年度 事業計画予算案B・C・Dに関して　（森副校長）

B＝教育研究活動補助　6,300,000円の予算を考えている。

下校庭の工事費の関係により目減りしているものがある。

C＝学校運営補助費・D＝教育活動補助費《奨学寄附金》

収入の部　奨学寄付金繰越18,186,161円　本年度奨学寄附金19,000,000円　奨学寄付金総額予算37,186,161円。

支出の部予算　C＝14,750,000円　Ⅾ＝20,436,161円　空調設備整備費（D）2,000,000円

特別寄付金予算

特別寄付積立金　繰越　5,037,000円　寄付　3,000,000円

1万円合わない特別寄付金について（勝岡顧問）

令和５年度（2023年度）決算報告書（総表）3ページ、支出の部奨学寄付金（特別寄付）決算5,007,000円について、令和5年度（2023年度）特別寄付金決算報告書4ページ、繰越金20,000円普通に考えると5,027,000円となるが、実際の残高が5,037,000円となっている。

10,000円違うように見えるが、差の10,000円は創竹会を通さずに直接大学から中学の寄付金としてきたため、創竹会の計算には反映されなかったが、大学の口座には5,037,000円と記載されている。大学を通して竹早中学に直接寄付をすることができる制度となっている。

8）質疑応答

1D　鈴木　Q：諸物価高騰で後援会も大変だと思います。会費の値上げ等お考えですか？

A：物価の高騰だけでなく、コロナウイルス等感染症対策費用、プールの補修費用、課外活動の指導員の給与など、政府からの補助金がでないために創竹会で負担せざるを得ない業務範囲が拡大しております。

政府からの補助金がでないために創竹会で負担せざるを得ない業務範囲が拡大している。

政府は一人一台の端末や高速通信ネットワークを整備し、デジタル技術の活用により、子供達の最適な学びを実現する GIGA スクールを推進し、積極的な予算措置を実施しているのにもかかわらず附属校はその恩恵に与れないというのが現状です。

校庭の整備をはじめとして、校舎の老朽化による保守費用がさらに加算される可能性が高くなっており創竹会として業務範囲を広げざるを得ないことが現実です。

会費の値上げも考慮しつつ運営する必要もありますが、皆様のご理解を得るために会としても努力を続けてまいりたいと考えております。

2B　沼田　Q：学校説明会での創竹会についての説明があまり周知されていない気がします。公立中校

との違いをもっと明確に説明する必要があると思いますが。

A：創竹会では標準的な教育環境の少しでも上を行くことを目ざして、オリンピック規格の

床素材を使用した体育館やSUGOI部屋などの整備を行ってきました。特に体育館の床素

材は全国でも数校しか導入されておらず、子どもたちの体への負担やスリップなどの事故

も起きにくい素材です。さらにアントレプレナーシップを育成するために、生徒・先生・

事業者が協力して構築したDルームは竹早ならではの教育スピリッツの結晶であります。

このような取り組みが十分に広報できていないことは会でも認識しており、今後いままで

の活動の棚卸しをしつつ積極的な広報活動を行ってまいりたいと考えております。

1A　藤塚 Q：PTA、同窓会との連携が必要な事業がありますがどのように進めていますか？

 A.：PTA は在学生の父兄を中心とした組織であり、創竹会は在学生の父兄および卒業生の父兄・卒業生が主な構成員となっています。基本的にはPTAは先生方と父兄が交流するためのプラットフォームであり 過去においては観劇会・食事会など先生と父兄が信頼関係を構築するための交流会なども企画されておりました。教育後援会は平成12年に、旧文部省から、PTAは保護者と教員がともに関わる教育効果向上のための活動のみを行い、学校行事や課外活動等の生徒が直接関わる教育活動への支援は、教育後援会を設けて行うようにすること。という強い指導があり設立されたものです。主な費用項目は児童、パソコン、楽器など生徒用備品購入費、図書購入費、教員の研修会出席旅費、校外学習の引率者旅費、クラブ活動引率者旅費、講師招聘旅費、同謝礼金、非常勤講師雇用費などです。そもそも組織の成り 立ちや役割が異なるので、共同事業を常態化することは政府の方針とは異なるものです。しかしながら下校庭の整備など両組織が費用負担を共同で行わなければ実施できないような事業が出てきたことも事実です。またPTAの役員に創竹会の役員会に出席していただき、これが制度化されているわけではないものの、現在、私は同窓会の会長も兼任しており情報交流は常に心がけております。このように人的ネットワークを活用して必要なときに連携することが、それぞれの組織の設立の趣旨にもてきごうしていると考えております。

９）各議案の採決

令和５年度 事業報告、同決算報告、同監査報告について、ご賛同の方は拍手をお願いいたします。（拍手）

本議案は賛成多数をもって原案とおり承認可決されました。

令和６年度 創竹会 役員選出について、ご賛同の方は拍手をお願いいたします。（拍手）

本議案は賛成多数をもって原案とおり承認可決されました。

令和６年度 事業計画・予算案について、ご賛同の方は拍手をお願いいたします。（拍手）

本議案は賛成多数をもって原案とおり承認可決されました。

１０）解任役員の紹介

　　　　解任者起立、挨拶。

１１）新役員の紹介

　　　　新役員起立、挨拶。

以　上